

ミニトピックス展

真夏の蜃気楼 九十九里浜に出現！ ～寺田寅彦博士が観測して以来104年ぶりか!?～

会期：平成27年9月5日(土)～9月29日(火)

場所：本館にて開催

富山県で見られる蜃気楼をご存知ですか？これは「上位蜃気楼」という珍しい蜃気楼です。

実は2015年8月5日～7日に千葉県九十九里町の海岸で、この上位蜃気楼を当館の大木淳一主任上席研究員と気象予報士の武田康男氏が観測しました。特に8月6日は7時～14時頃まで長時間観測されました（写真1, 4, 5）。

千葉県で上位蜃気楼が観測された記録を調べると、物理学者であり随筆家や俳人でもある寺田寅彦博士が明治44年に九十九里沖で観測して以来、実に104年ぶりに観測した可能性があります。

写真1 太東崎方面で観測された上位蜃気楼 崖が上に伸びて変な形をしている（2015年8月6日撮影）



写真2 通常の景色（2015年6月1日撮影）



写真3 秋から春にかけてよく見られる下位蜃気楼 浮島現象として太東崎が下方へひっくり返ったように見える (2015年3月26日撮影)



写真4 九十九里沖で観測された上位蜃気楼 船が上方へ反転し、さらに上位に船が見える (2015年8月6日撮影)



写真5 銚子方面で観測された上位蜃気楼 船が上方へ反転し、風車の下側が若干縮んだように見える (2015年8月6日撮影)



気象予報士の武田康男氏は、今回の上位蜃気楼の発生メカニズムを、「早朝の海上に霧が見られたことから、海面上にやや冷たい空気の層があったと考えられる。その上に陸上から比較的暖かい空気が入り、光が上を凸にして曲がり、遠くの景色や水平線の虚像が上方に見られる上位蜃気楼が現れたと思われる。」と述べております。

今回、過去の記録をたどる限り 104 年ぶりに千葉県で上位蜃気楼が観測されたこととなりますが、その間、上位蜃気楼が出現した可能性はあります。過去に写真やビデオで上位蜃気楼を撮影された方は、博物館へ情報をお寄せください。

(文責・企画展示 房総の山のフィールド・ミュージアム 大木淳一)